

東京都市大学新1号館新築が起工

五島育英会

五島育英会（渋谷区道玄坂1ノ10ノ7）は16日、大学関係者のほか、設計・監理担当の東急設計コンサルタント、施工担当の東急・大成建設JVの関係者が参加し、工事の無事故・無災害を祈念した。

神事には五島育英会、となるが、学生や近隣への影響を最小限に、安全な施工を心掛けてほしい」と語った。

新1号館は、鉄筋コンクリート一部鉄骨造地下1階地上4階建て延べ1万5000平方メートル、屋上や壁面への緑化推進している。

建設地は世田谷区玉堤1ノ28ノ1。工期は第1期工事として、建設地の南側約半分を2011年12月末までに完成。その後、北側にある既存の1号館を解体、撤去した後、12年10月ごろに第2期工事に着手、全体の完成は13年12月下旬を予定している。



完成イメージ

神事後の直会（なわらい）であいさつした五島育英会の山口裕啓理事長は「新1号館は、環境への配慮とともに、学生の満足度充実といったコンセプトとなっている。3年という長期間の工事



鋤入れする東急建設 飯塚恒生社長



木住野（きしの）龍也 所長のコメント
「長い工期の中で1期工事完了後の移転や既存校舎解体などの節目で遅れを発生させないよう徹底する」